

遠足前のわくわく感を大切に



「遠足前のわくわく感を大切に、子どもたちや地域住民とともに、新しいコミュニケーションデザインを描きたい」。こんなビジョンを掲げ、「遠足計画」代表で、当時、鳥取市内の職場で働きながら、ボランティア活動に打ち込んでいた石原達也さんが2004年、活動をスタートさせ、2009年にNPO法人化した。

子どもたちが協力して秘密基地づくりなどを楽しむ「とっとり冒険きち」のほか、地元の人たちから持ち込まれたメッセージ付きの本を購入できる「遠足文庫」、オーガニック野菜の販売や屋台店などが並び、食の安心や安全について考える「遠足

市場」など多彩な事業を行っている。
遠足計画の「はじまり」は、あるキャンプで出会った子どもたちとの会話がきっかけだった。「いつもはどこで遊んでるの?」と聞くと、「遊ぶ場所がないから家で遊んでる」との返事。
多くの町にはたくさん公園があり、ちよつと足をのばせば山も川も海もある鳥取県の自然環境。なのに、「遊ぶ場所がない」と話す子どもたち。「なぜ?」と考えていくと「遊び方を知らないのでは?」と思うようになった。
それなら、野外で伸び伸びと遊んでもらう「遊びの時間」を提案していこう、と「とっとり冒険きち」を鳥取市の湖山池周辺でスタートさせた。



手づくりのチラシを地元の小学校の協力を得て配布。保護者や児童の関心呼び、参加した子どもたちの「楽しい」といった口コミとともに人気が高まり、毎年の恒例行事に育っている。

2011年には、元保育所の施設を活用した新事務所(鳥取市河原町曳田)を開設。「遠足文庫」や「遠足市場」が活動の軸に育ち、写真教室や切り絵教室、コミュニケーションカフェの勉強会やトークイベントなども開催している。

「遠足文庫」店長の河上奈名子さんは「地元の子どもや大人たちが、気軽に事務所に立ち寄ってくれるのがうれしい。カ



フェススペースを設け、コーヒーや手づくりのカレーライス(土日曜限定)の提供も始めました。人と人が出会い、つながっていく場所にしていきたい」と笑顔を浮かべている。



NPO法人「遠足計画」の事例

代表者のコメント

代表 石原達也さん

「遠足前のわくわく感を大切に、子どもたちや子どもを取り巻く大人たちの新しいつながりを作っていきたい」と活動をスタートさせました。2011年、活動拠点を河原町へ移し、子どもたちが協力して秘密基地づくりなどを楽しむ「新とっとり冒険きち」のほか、本の持ち主からの思い出メッセージ付きの本を購入できる「遠足文庫」など多彩な事業を行っており、人が自然とつながりあえる場を作っていきたいと考えています。



NPO法人 遠足計画

- 〈概要〉 ●所在地:鳥取市河原町曳田740
●代表者:石原達也
●活動内容:2013年度から「新とっとり冒険きち」を遠足文庫で開催。新冒険きちのテーマは「秘密基地をつくろう!」。遠足文庫は本を売るだけでなく、本を思い出と一緒に「つなぐ」ことを目指している
TEL 080-4269-7615 MAIL ensoku.keikaku@gmail.com
ホームページ <http://ensoku-keikaku.org/>

